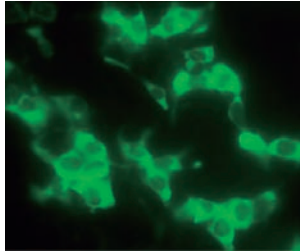




SARS-CoV-2 Nucleocapsid 過剰発現細胞

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の Nucleocapsid タンパク質をコードする遺伝子を HEK293T 細胞にノックインした細胞です。蛍光タンパク質タグも導入済みです。



蛍光顕微鏡観察像

特長

- 独自の FAST-HDR ベクターと CRISPR/Cas9 システムの組み合わせにより作製された細胞株です。
- mClover3 を導入しているため、細胞を培養するだけで Nucleocapsid タンパク質の顕微鏡観察が可能です。

	本製品	自作細胞	抗体による染色	蛍光色素による染色
作業の手間	少ない	非常に多い	中程度	少ない
ライブイメージング	○	○	×	○
長時間観察	○	△	×	×

保存条件：液窒 [メーカー：EPS]

細胞の種類	HEK 293T		
発現タンパク質	SARS-CoV-2 Nucleocapsid		
タグ	mClover3, 3×FLAG, 6×His		
測定波長 (mClover3)	励起 506 nm / 蛍光 518 nm		
抗生物質耐性	Puromycin		
接合型	ヘテロ	ホモ	
商品コード	EXP-014-HET	EXP-014-HOM	
包装	1 vial	1 vial	
価格 (¥)	ご照会下さい	ご照会下さい	

こちらもオススメ

本製品と同様の技術を用いてゲノム編集を行うカスタム細胞株の受託作製も承ります。

従来法よりも短期間での提供が可能です。

詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー：EPS]

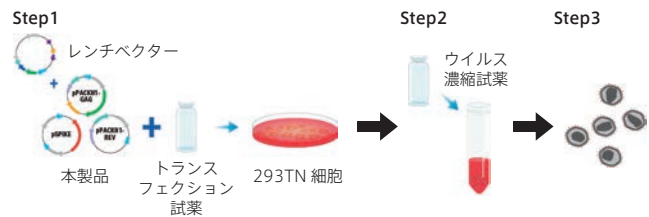
SARS-CoV-2 S タンパク質発現 偽型レンチウイルス粒子作製ベクターセット pPACK-SPIKE

SARS-CoV-2 Spike (S) タンパク質をウイルス粒子表面に発現した偽型レンチウイルス粒子を、簡単に作製できるパッケージングベクターのセットです。

特長

- pPACKH1 Packaging System (Web ページ番号：3267) で用いられている VSV-G エンベロープタンパク質遺伝子の代わりに、コドン最適化された SARS-CoV-2 S タンパク質遺伝子を組み込んだベクターを使用しています。
- ウイルス粒子そのものを用いる場合に比べ安全性が高まるため、ウイルス侵入、感染および感染阻害研究に最適です。

操作方法概略



Step1 ウイルス粒子産生細胞に本製品と目的遺伝子が組み込まれたレンチベクターを導入する。

Step2 培養培地を回収し、別売のウイルス濃縮試薬 (PEG-it, Web ページ番号：3160) を用いて偽型ウイルス粒子を濃縮する。

Step3 回収した偽型ウイルス粒子を SARS-CoV-2 研究に使用する。

製品ラインナップ

[メーカー：SBI]

発現するタンパク質	商品コード
Original (Wuhan-Hu-1)	CVD19-500A-1
D614G Mutant	CVD19-530A-1
N501Y Mutant	CVD19-560A-1
Alpha (B.1.1.7)	CVD19-590A-1
B.1.351 RBD Mutations	CVD19-580A-1
B.1.351 S1 Mutations (RBD+D614G)	CVD19-600A-1
Beta (B.1.351)	CVD19-640A-1
B.1.429 (CAL.20C)	CVD19-610A-1
B.1.525	CVD19-620A-1
Gamma (P.1)	CVD19-630A-1
Delta (B.1.617.2) NEW	CVD19-650A-1

品名：pPACK-SPIKE SARS-CoV-2 "S" Pseudotype

Lentivector Packaging Mix

包装：1 kit (10 reactions) 価格：¥125,000

※25 reactions の製品もあります。フナコシ Web をご覧ください。